

UVSOR 懇談会議事録 2025/10/31 11:00~12:00

岡崎コンファレンスセンター+オンライン

参加者：対面 86 名（口頭 9 件、ポスター 37 件）、オンライン 17 名

◎シンポジウムの学生優秀発表賞 発表（3 名（発表順・番号順）、賞状および景品授与）

HAN Jiyu（東京大学）

「元素置換 Ta_2NiSe_5 において現れる二重ギャップ構造」

小野 広喜（名古屋大学）

「 $\text{H}_2\text{Pc}/\text{Fe}_2\text{N}$ 有機-無機ハイブリッド界面における N 原子の電子状態から明らかにする磁気結合状態」

三輪 聖（名古屋大学）

「TGF 電子加速域の位置推定のための指向性チェレンコフ検出器開発」

※ 懇談会最後に授与、写真撮影を行った

議題、報告、懸案事項：

（1）UVSOR 利用者懇談会について説明

○会員登録方法

○世話人規約

○第 15 期世話人報告〔富山大学 彦坂先生（代表）、大阪大学 木村先生、山形大学 北浦先生、東京大学 岡林先生、東京大学 黒澤先生（事務局）〕

○投票について（投票率 27% → 会員名簿の確認・見直し予定）

・ユーザーコメント：学生は会員に入っているか？

・伊藤先生回答：申請代表者（責任者）が懇談会会員に入会。学生は入っておらず投票権もなし。懇談会への学生の登録条件について確認（UVSOR 事務室に確認？）

（2）UVSOR 若手の会について報告

○開催日時・場所：2025/10/29 13:00~17:30, 岡崎コンファレンスセンター

○参加者：42 人（昨年度 30 人）

○運営委員会メンバー（五十音順）

浅井 佑哉（広島大学） 小野広喜（名古屋大学） 佐々葉遼平（大阪大学） 佐藤祐輔（分子研） 鈴木崇人（東北大学） 中澤遼太郎（分子研） 中村拓人（大阪大学） 西野 史（QST） 西原快人（大阪大学） 萩原健太（東京大学） 長谷川友里（筑波大学）

【運営委員中村先生からの報告】

- 準備状況：6月末から打ち合わせ開始、7月には告知
- slack を利用しての打ち合わせ（昨年度の意見交換会でのコメント）
- 参加者：42名（B4:4, M:15, D:12, PD:2, 助教:5, シニア:4）
- プログラム内容：自己紹介（昨年度大幅に時間超過したため、今年度は調整）、講演、意見交換会、懇親会）
- アンケート集計結果：参加者専門分野は光電子分光、吸収分光、光源と様々、昨年度は光電子分光がメイン。参加者の内、7割程度が初めての参加。キャリアパス講演が重要。

・意見交換会（若手の会）で出た学生・若手からのコメント

- － 昨年度の要望実施：リング入口付近への棚設置、Slack 開始
- － 安全講習（動画視聴）のオンライン化
- － 給水器の設置
- － 若手の会 HP
- － ユーザー控室について（無人販売所への意見箱設置、換気）
- － 旅費精算の明細発行
- － ロッジ（洗濯機/乾燥機が汚い）
- － 分子研に常駐する学生用の控室設置

施設側回答（分子研に常駐する学生用の控室設置）：

- UVSOR 特別共同研究員のデスクワークスペース無し
- 常駐している方にはデスクワークスペース有り（監督者によって設置状況様々）
- 監督責任の問題で設置が可能かはわからない

施設側回答（若手の会 HP）：

- 若手の会は階層として懇談会の下
- 研究会の規模大きくする、他の放射光施設共催する、予算申請は特に問題無し
- 次回（第三回、開催希望）については若手の会世話人相互に情報共有しながら進めていく
- UVSOR HP リニューアル時に懇談会 HP・若手の会 HP リンクを載せることは可能

施設側コメント（若手の会開催について）：

- 若手の会を開催するにあたり、UVSOR 事務局への負担が大きい。任せる仕事の内容の相談等、若手の会と UVSOR 事務局のコミュニケーションが必要
- シニア研究者の協力が必要（関連コメント）
- 旅費処理が一番大変だった印象（関連コメント）

ユーザーコメント（若手の会運営・規模感について）：

○若手の会の規模を大きくしていくために、若手の会の主体性・独立性を高めることも一つの案（例：若手の会独自の事務局で運営）。現状だと懇談会の下での位置づけであるため、UVSOR事務に依頼して手続きを進める形になっている（UVSOR事務の負担につながる）。また、若手の会の参加人数・規模感についての問い合わせ。

施設側コメント（若手の会運営・規模感について）：

○若手の会の規模・上限の設定は必要。旅費支援にも制限あり、バランスが必要。参加者については右肩上がりでももう少し増やしてもいいと思っている。

ユーザーコメント（若手の会運営・規模感について）：

○研究会運営で財務の管理が重要かつ難しい。継続性についての確認も必要（やる気のあがる学生がいる間はよいがなくなったらどうするのか）。財務管理を行うためにはしっかりと組織として定義付けが必要か（例：懇談会への学生参加）。現状だと何故UVSOR事務室は若手の会をサポートする必要があるか？が明らかではない。

ユーザーコメント（学生の懇談会参加・研究課題申請について）：

○学生の懇談会参加についての議論はこれまでなかった。現状では申請代表者が懇談会に登録される仕組み。他放射光施設では学生申請のシステム有り（UVSORは無し）。

施設側コメント（学生の懇談会参加・研究課題申請について）：

○会員資格と選挙権については今後進めていく。大学院生の申請は現在認めていない。

ユーザーコメント（学生の懇談会参加・研究課題申請について）：

○学生時に海外放射光施設に研究課題申請し、問題なく通った。学生の成功体験・経験を積むという点でよかった。指導教員を申請書に記載する必要あり。

施設側コメント（学生の懇談会参加・研究課題申請について）：

○重複申請（学生の申請と指導教員の申請を分けて申請）をどう見分けるか。

→SPRING-8は学生課題有り（関連コメント）

→PFは最近区別なし（関連コメント）

→UVSORは制度設計も含めて検討中（様々な問題の着地点は現状無し）

ユーザーコメント（学生の懇談会参加・研究課題申請について）：

○責任問題（薬品、劇物、装置故障）をどうするか。装置故障については保険対応有り。

ユーザーコメント（学生の懇談会参加・研究課題申請について）：

○学生が書いて指導教員に申請してもらう方法もあるか。

施設側コメント（学生の懇談会参加・研究課題申請について）：

○Encourage という観点からは学生申請はあってもよい。継続議論をお願いしたい。

（３）意見交換会でのコメント

○自転車の整備・活用について（UVSOR 貸出自転車）：継続課題

○ビーム入射（300mA トップアップ）について

・200mA 入射の方が実験しやすいというユーザーコメントもあった（施設側コメント）

・300mA トップアップが頻繁に起こるので改善してほしい（ユーザーコメント）

→トップアップの入射回数の削減に取り組む（施設側回答）

○電子レンジをユーザー控室にもう一つ増やすことは可能か？

→対応可能だが、あまり混んでいない？（施設側回答）

○トースター設置希望有り（ユーザーコメント）

○ごみ処理（カップラーメンゴミ処理等）、ユーザー控室整理整頓（施設側コメント）